



公民館図書室つうしん

「8月の新刊紹介」

◇ 文学・小説 ◇



富樫 倫太郎 『早雲の軍配者①』

世は戦国、領民たちから「葦山さま」と慕われている伊勢宗瑞こと、北条早雲。

彼に見出された少年・風間小太郎は、伊勢家の未来を担う軍配者となるべく、足利学校に送り込まれた。

そこでは兵法・占術・医術・観天望気といった戦国大名のブレーンに必要な学問を学ぶ傍ら、生涯のライバルたちにも巡り合う！

新時代の戦国青春エンターテインメント。

No Image...

垣見 隆 『地下鉄サリン事件はなぜ防げなかったのか』

死者14名、負傷者6000人以上にも上った未曾有のテロ「地下鉄サリン事件」が起きてから30年が経つ。

警察は前年に起きた「松本サリン事件」からオウムとサリンの関係をつかんでいたのにも関わらず、なぜテロを防ぐことができなかったのか。

オウム捜査の最高責任者だった警察庁刑事局長が、「松本サリン事件」「地下鉄サリン事件」「警察庁長官狙撃事件」など一連の事件について当時の資料やメモをもとに初めて証言。捜査の全内幕を語る。

No Image...

白石 一文 『つくみの記憶』

松谷遼平は会社の懇親会で8歳下のアルバイト・隠善つくみと初めてまともに話すと、昔からの知り合いのような奇妙な感覚に襲われる。

この人は俺に会いに来たんじゃないか...？

異常とも思える人と人との奇縁、土地の記憶の連環ー。

「自分とは何者なのか」を追求し続ける白石文学の金字塔。

No Image...

佐藤 正午 『熟柿』

激しい雨の降る夜、眠る夫を乗せた車で老婆を撥ねたかおりは、轢き逃げの罪に問われ、裁判中に息子「拓」を出産する。

出所後息子に会いたいあまり、園児連れ去り事件を起こした彼女は息子との接見を禁じられ、追われるように西へ西へと各地を流れてゆく。

自らの罪を隠して生きる彼女にやがて、過去にまつわるある秘密が明かされる。。

『鳩の撃退法』(山田風太郎賞)

『月の満ち欠け』(直木賞受賞)

の著者による最新長編小説

No Image...

図書購入のリクエストは随時受け付けておりますので、気になる本があればお気軽にリクエストして下さい。

右のQRからも
リクエスト可能
です。



※この他にも新刊図書多数ございます。

問い合わせ先: 南富良野町教育委員会生涯学習係 TEL 52-2145